

2014
BUSINESS REPORT

HAZAMA ANDO CORPORATION

平成27年3月期 第2四半期報告書

平成26年4月1日から平成26年9月30日



株式会社 安藤・間

(呼称：安藤ハザマ)

証券コード：1719

株主の皆様へ

目次	
株主の皆様へ	1
財務ハイライト	2
事業別の概況	4
主な完成・受注工事	5
連結財務諸表	7
主要財務データ	9
会社の概況	10
株式の状況	12
株主メモ	13



代表取締役会長

代表取締役社長

小野 俊雄 野村俊明

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに平成27年3月期第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）の事業の状況について、ご報告申し上げます。

当連結累計期間は、堅調な建設需要などに支えられながら、受注高、完成工事高、利益額ともに計画値を上回る成果をあげることができました。これも、ひとえに株主の皆様のご理解とご支援の賜物と感謝申し上げます。

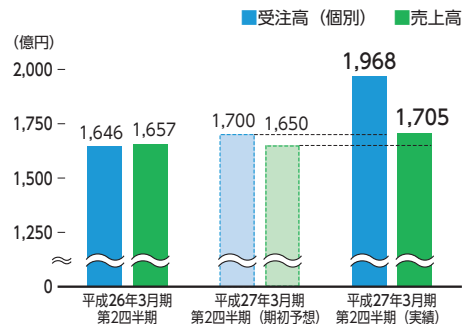
当社は、このような状況のもと、1株あたり3円の間配当を実施させていただくことといたしました。

これからも「安藤ハザマ」は、現状に満足することなく果敢に挑戦し続け、新たな企業価値を創造してまいります。株主の皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

受注高・売上高

受注高（個別）は、国内土木工事の受注が堅調に推移したなどで、前年同期比で321億円（19.5%）増加、期初予想比で268億円（15.7%）増加し、1,968億円となりました。

売上高は、順調に工事が進んだことによって、完成工事高が増加となり、前年同期比で48億円（2.9%）増加、期初予想比で55億円（3.4%）増加し、1,705億円となりました。

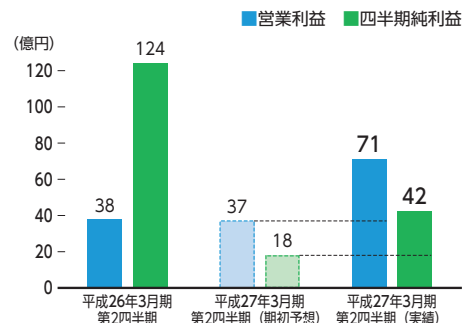


損益

主に国内建築工事における採算性の向上により、営業利益は前年同期比で33億円（88.0%）増加、期初予想比で34億円（93.7%）増加し、71億円となりました。

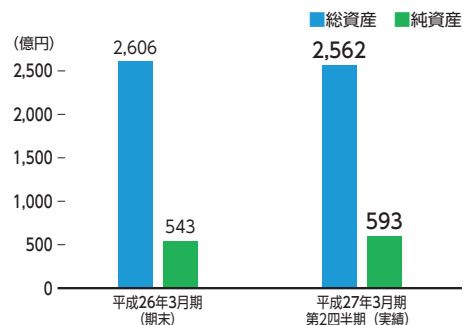
また四半期純利益は、前年同期比で81億円（65.4%）減少^(※)、期初予想比で24億円（138.7%）増加し、42億円となりました。

※前年同期は、合併に伴い、負ののれん発生益（特別利益）105億円を計上しております。



財政状態

資産は、工事代金の回収などにより、現金預金の増加、受取手形・完成工事未収入金等の減少などにより、前期末比で44億円減少し、2,562億円となりました。負債は、支払手形・工事未払金等および借入金の減少などにより、前期末比で93億円減少し、1,969億円となりました。純資産は、利益剰余金、その他有価証券評価差額金の増加などにより、前期末比で49億円増加し、593億円となり、自己資本比率は、22.9%となりました。



■ 当期間の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響もあって鉱工業生産に足踏みが見られたものの、景気は引き続き回復基調にあり、復興需要等による下支えに加えて、政府によるデフレ脱却・経済成長政策の着実な実行により、企業収益や業況判断は、改善に向かいました。

今後についても、海外景気の下振れなど、国内景気を下押しするリスクが引き続き存在するものの、各種政策・対策等の効果を背景に、景気は緩やかに回復していくことが期待されています。

当社グループの主たる事業である建設産業におきましては、復興関連事業の本格化、政府建設投資の堅調な推移に加え、民間設備投資が回復傾向にあるなど建設需要は堅調に推移しておりますが、建設技能労働者の不足、建設資材価格の上昇などもあり、予断を許さない経営環境が続いております。

こうした状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,705億円（前年同四半期1,657億円、前年同四半期比2.9%の増加）、営業利益71億円（前年同四半期38億円、前年同四半期比88.0%の増加）、経常利益70億円（前年同四半期33億円、前年同四半期比108.8%の増加）、四半期純利益は42億円（前年同四半期124億円、前年同四半期比65.4%の減少）となりました。

■ 今後について

建設産業におきましては、復興関連事業の本格化、政府建設投資の堅調な推移に加え、民間設備投資が回復傾向にあるなど建設需要は堅調に推移していくことが見込まれますが、建設技能労働者の不足、建設資材価格の上昇などもあり、予断を許さない経営環境が続いていくと思われれます。

このような状況の下、当社は、基本戦略である「築き上げてきた実績をもとに、補完性を活かして、技術力・営業力・コスト競争力を再構築し、事業の強化と効率化を推進する」、「継続的な成長のために経営資源の最適配分と必要な投資を行う」を推し進めることにより、『安藤ハザマ』ブランドを確立し、強い経営基盤と高い収益力をもつ、存在感の高い企業を目指してまいります。

通期連結業績見通し

売 上 高	366,000百万円
営 業 利 益	15,000百万円
経 常 利 益	13,800百万円
当 期 純 利 益	7,900百万円
1 株 当 たり 当 期 純 利 益	42.75円

事業別の概況

土木事業

売上高 529億円



■受注高

863億円となりました。前年同期比で519億円(150.9%)増加、期初予想比で163億円(23.3%)増加となりました。事業別の内訳は、官公庁73.6%、民間26.4%です。なお海外工事は全体の0.1%です。

(注) 受注高等は個別ベースで記載しています。

<主な受注工事>

発注者(敬称略)	工事名
環境省福島環境再生事務所	平成26年度浪江町対策地域内廃棄物処理業務(減容化处理)
川崎市	末吉配水池更新工事

■売上高・営業利益

売上高は529億円となり、前年同期比で52億円(11.0%)増加となりました。営業利益は38億円となり、前年同期比で3億円(8.5%)増加となりました。

<主な完成工事>

発注者(敬称略)	工事名
いわき市	久之浜・大久地区除染業務委託
国土交通省 近畿地方整備局	大阪北共同溝枚方・交野地区洞内設備他設置工事

建築事業

売上高 1,075億円



■受注高

1,104億円となりました。前年同期比で197億円(15.2%)減少、期初予想比で104億円(10.5%)増加となりました。事業別の内訳は、官公庁15.1%、民間84.9%です。なお海外工事は全体の15.9%です。

(注) 受注高等は個別ベースで記載しています。

<主な受注工事>

発注者(敬称略)	工事名
須賀川市	須賀川市新庁舎建設本体工事
住友商事株式会社・ 大和ハウス工業株式会社	(仮称)芝浦4丁目計画新築工事
HAL ALUMINUM MEXICO,S.A.DE C.V.	広島アルミニウムメキシコ 第2工場新築工事

■売上高・営業利益

売上高は1,075億円となり、前年同期比で6億円(0.6%)減少となりました。営業利益は42億円となり、前年同期比で37億円(696.2%)の増加となりました。

<主な完成工事>

発注者(敬称略)	工事名
株式会社バイタルネット	バイタルネット宮城物流センター 新築工事
一般財団法人 脳神経疾患研究所	(仮称)南東北BNCT研究センター 新築工事
野村不動産株式会社	(仮称)目黒本町2丁目計画新築工事

■ 完成工事



工事名：バイタルネット宮城物流センター新築工事（宮城県）
発注者：株式会社バイタルネット



工事名：佐世保中央病院南棟増改築工事（長崎県）
発注者：社会医療法人財団 白十字会



工事名：大阪北共同溝枚方・交野地区洞内設備他設置工事（大阪府）
発注者：国土交通省近畿地方整備局



工事名：サンタフェ橋建設計画（ニカラグア）
発注者：ニカラグア運輸インフラ省

■ 受注工事



工事名：須賀川市新庁舎建設本体工事（福島県）
発注者：須賀川市



工事名：(仮称) 西新橋一丁目計画（東京都）
発注者：株式会社同和ライン



工事名：中部横断一色トンネル（その2）工事（山梨県）
発注者：国土交通省関東地方整備局



工事名：広島アルミニウムメキシコ第2工場新築工事（メキシコ）
発注者：HAL ALUMINUM MEXICO,S.A.DE C.V.

連結財務諸表

連結貸借対照表

科 目	前期末 (平成26年3月31日)	当第2四半期末 (平成26年9月30日)
資産の部		
流 動 資 産	205,969	201,176
現 金 預 金	70,773	84,180
受取手形・完成工事未収入金等	111,297	87,828
未 成 工 事 支 出 金	5,191	5,745
その他のたな卸資産	4,727	4,367
繰 延 税 金 資 産	4,094	4,117
そ の 他	9,938	14,981
貸 倒 引 当 金	△55	△43
固 定 資 産	54,677	55,066
有 形 固 定 資 産	28,710	28,293
土 地	19,575	19,575
そ の 他 (純 額)	9,135	8,717
無 形 固 定 資 産	1,202	1,168
投資その他の資産	24,764	25,605
投 資 有 価 証 券	15,558	17,250
繰 延 税 金 資 産	3,836	3,066
そ の 他	5,625	5,543
貸 倒 引 当 金	△255	△255
資 産 合 計	260,646	256,243

(単位：百万円、百万円未満切捨)

科 目	前期末 (平成26年3月31日)	当第2四半期末 (平成26年9月30日)
負債の部		
流 動 負 債	178,443	165,674
支払手形・工事未払金等	100,169	83,726
短 期 借 入 金	26,302	22,142
1年内償還予定の社債	326	351
未 払 法 人 税 等	2,650	2,586
未 成 工 事 受 入 金	25,758	32,610
完成工事補償引当金	1,304	1,277
賞 与 引 当 金	1,015	1,016
工 事 損 失 引 当 金	3,052	2,200
そ の 他	17,864	19,764
固 定 負 債	27,821	31,257
社 債	846	1,008
長 期 借 入 金	11,945	15,598
退職給付に係る負債	13,943	13,729
環 境 対 策 引 当 金	321	321
繰 延 税 金 負 債	73	74
そ の 他	691	524
負 債 合 計	206,264	196,931
純資産の部		
株 主 資 本	54,519	57,903
資 本 金	12,000	12,000
資 本 剰 余 金	15,010	15,004
利 益 剰 余 金	27,603	30,976
自 己 株 式	△95	△77
その他の包括利益累計額	△768	794
その他有価証券評価差額金	954	2,440
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	2	3
為 替 換 算 調 整 勘 定	130	92
退職給付に係る調整累計額	△1,855	△1,741
新 株 予 約 権	21	17
少 数 株 主 持 分	608	596
純 資 産 合 計	54,381	59,311
負 債 ・ 純 資 産 合 計	260,646	256,243

連結損益計算書

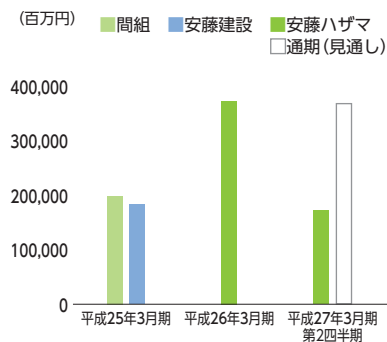
(単位：百万円、百万円未満切捨)

科 目	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	165,766	170,588
完成工事高	162,052	164,378
その他の事業売上高	3,713	6,209
売上原価	154,117	154,632
完成工事原価	151,353	149,471
その他の事業売上原価	2,764	5,160
売上総利益	11,648	15,955
完成工事総利益	10,699	14,907
その他の事業総利益	949	1,048
販売費及び一般管理費	7,834	8,787
営業利益	3,813	7,167
営業外収益	344	659
受取配当金	163	107
為替差益	-	412
その他の	181	140
営業外費用	789	792
支払利息	463	432
その他	325	359
経常利益	3,368	7,034
特別利益	10,597	5
負のれん発生益	10,579	-
その他	17	5
特別損失	119	42
訴訟関連損失	0	37
合併関連費用	113	-
その他	5	4
税金等調整前四半期純利益	13,846	6,997
法人税等	1,359	2,694
少数株主損益調整前四半期純利益	12,486	4,303
少数株主利益	74	7
四半期純利益	12,411	4,296

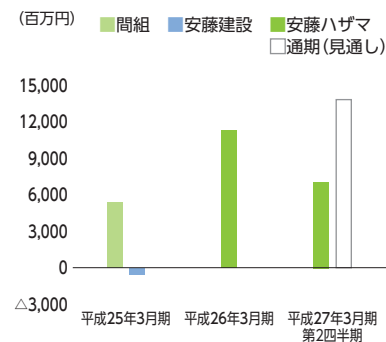
主要財務データ

■ 主要経営指標 (連結ベース)

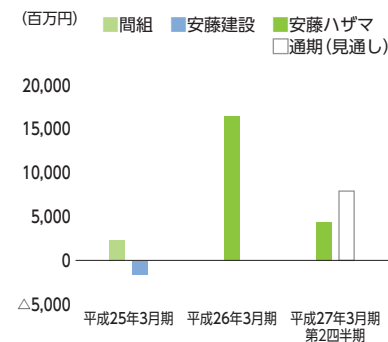
売上高



経常利益



四半期(当期)純利益



区 分	平成25年3月期	安藤ハザマ			
		平成26年3月期	平成27年3月期 第2四半期 通期予想		
売上高 (百万円)	間組	197,899	371,216	170,588	366,000
	安藤建設	182,337			
営業利益 (百万円)	間組	5,612	12,077	7,167	15,000
	安藤建設	228			
経常利益又は経常損失(△) (百万円)	間組	5,336	11,258	7,034	13,800
	安藤建設	△542			
四半期(当期)純利益又は 当期純損失(△) (百万円)	間組	2,293	16,414	4,296	7,900
	安藤建設	△1,579			
総資産額 (百万円)	間組	141,879	260,646	256,243	-
	安藤建設	123,363			
純資産額 (百万円)	間組	32,844	54,381	59,311	-
	安藤建設	21,818			
1株当たり純資産 (円)	間組	212.75	290.96	317.58	-
	安藤建設	258.19			
1株当たり四半期(当期)純利益 又は1株当たり当期純損失(△) (円)	間組	20.69	96.47	23.25	42.75
	安藤建設	△19.10			
自己資本比率 (%)	間組	23.1	20.6	22.9	-
	安藤建設	17.3			

会社の概況 (平成26年9月30日現在)

- 商号 株式会社 安藤・間 (呼称：安藤ハザマ)
(英文名：HAZAMA ANDO CORPORATION)
- 設立 平成15年10月1日
- 資本金 12,000,000,000円
- 目的
 1. 土木建築その他工事の調査、測量、企画、設計、施工、監理、技術指導の請負、受託およびコンサルティング業務
 2. 工事用品および機械器具の供給
 3. 不動産取引および不動産、有価証券の保有ならびに利用
 4. 土壌の調査・浄化工事の請負、廃棄物の収集、処理、処分等の事業およびこれらに関するコンサルティング業務
 5. 地域開発、都市開発および環境整備等に関する企画、設計ならびにコンサルティング業務
 6. 発電および電気、熱等エネルギーの供給事業およびこれらに関するコンサルティング業務
 7. 建築の請負を伴う不動産関連の特別目的会社への出資および出資持分の売買、ならびに信託受益権の保有および販売
 8. コンピュータの利用に関するソフトウェア、工業所有権およびノウハウの取得、開発、実施許諾ならびに販売
 9. 前各号に付帯する事業
 10. 前各号に関連する事業を他と共同経営しまたは他の事業に投資すること

当社のホームページもご覧ください



<http://www.ad-hzm.co.jp/>

ネットワーク

■ 国内拠点

- 本社** 〒107-8658 東京都港区赤坂6-1-20
☎03-6234-3600
- 首都圏建築支店** 〒107-8658 東京都港区赤坂6-1-20
☎03-6234-3710
- 関東土木支店** 〒107-8658 東京都港区赤坂6-1-20
☎03-6234-3730

札幌支店 〒060-0061 北海道札幌市中央区南一条西8-1-1
☎011-272-6500

東北支店 〒980-8640 宮城県仙台市青葉区片平1-2-32
☎022-266-8111

東北建築支店 〒980-8640 宮城県仙台市青葉区片平1-2-32
☎022-264-1711

北陸支店 〒950-0082 新潟県新潟市中央区東万代町1-22
☎025-243-5577

静岡支店 〒420-8612 静岡県静岡市葵区追手町2-12
☎054-255-3431

名古屋支店 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内1-8-20
☎052-211-4151

大阪支店 〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島6-2-6
☎06-6453-2190

四国支店 〒760-0040 香川県高松市片原町11-1
☎087-826-0826

広島支店 〒730-0051 広島県広島市中区大手町5-3-18
☎082-244-1241

九州支店 〒810-0041 福岡県福岡市中央区大名1-8-10
☎092-724-1131

技術研究所 〒305-0822 茨城県つくば市荻間515-1
☎029-858-8800

■ 海外拠点

タイ、ベトナム、マレーシア、インドネシア、シンガポール、ミャンマー、ラオス、カンボジア、ネパール、トルコ、メキシコ、米国、ペルー、ホンジュラス

取締役および監査役 (平成26年10月1日現在)

代表取締役会長	小野俊雄
代表取締役社長	野村俊明
代表取締役副社長 土木事業担当	肥後満朗
代表取締役副社長 管理本部担当	金子治行
取締役専務執行役員 建築事業本部長	植野寿憲
取締役専務執行役員 建築事業本部長	山崎光
取締役専務執行役員 社長室長兼管理本部長兼防災担当	小島秀一
取締役常務執行役員 土木事業本部長	木下壽昌
取締役常務執行役員 建築事業本部副本部長 兼営業統括部長 兼営業統括部都市開発部長	杉本文雄
取締役常務執行役員 建築事業本部副本部長	福西清香
監査役	木下素規
※監査役	黒崎純一
監査役	馬場義彦
※監査役(非常勤)	江尻隆

(注) 1. ※印は、「会社法」第2条第16号に定める社外監査役です。

2. 当社は、監査役 黒崎純一氏および江尻隆氏を株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

執行役員 (取締役兼務者を除く。平成26年10月1日現在)

専務執行役員	西田壽起	土木事業本部長
専務執行役員	岩尾守	東北支店長
常務執行役員	熊木徹	大阪支店長
常務執行役員	世一英俊	技術本部長 兼 防災担当(副)
常務執行役員	北野敏彦	国際事業本部長
常務執行役員	福富正人	関東土木支店長
常務執行役員	小澤一也	首都圏建築支店長
執行役員	上野敏光	土木事業本部長
執行役員	吉川大三	土木事業本部長
執行役員	竹内孝光	土木事業本部長
執行役員	小松原新吉	安全品質環境本部長 兼 防災担当(副)
執行役員	田淵勝彦	大阪支店副支店長
執行役員	高阪克彦	建築事業本部営業統括部営業第二部長
執行役員	那須麗弘	社長室副室長 兼 人事部長
執行役員	菊地保旨	九州支店長
執行役員	辻正造	建築事業本部営業統括部営業第三部長
執行役員	麻生達三	広島支店長
執行役員	細淵英男	建築事業本部副本部長 兼 建築事業企画部長
執行役員	松浦洋一	建築事業本部技術統括部長
執行役員	宮崎三郎	首都圏建築支店統括副支店長
執行役員	飯村俊章	首都圏建築支店副支店長 兼 営業統括部長
執行役員	富田正開	首都圏建築支店副支店長
執行役員	池上徹	名古屋支店長
執行役員	五味宗雄	関東土木支店副支店長
執行役員	森安研	建築事業本部長
執行役員	宮崎和貴	建築事業本部長
執行役員	大野宏	建築事業本部長

株式の状況 (平成26年9月30日現在)

株式の発行 発行済株式総数

普通株式	185,209,189株
1単元の株式数	100株

株主の総数

当第2四半期末現在の株主総数……………40,431名
 前期末比……………349名減少

普通株主 (上位10名)

株主名	所有株式数	株式数比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	27,315千株	14.75%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	13,542	7.31
安藤ハザマグループ取引先持株会	6,888	3.72
株式会社みずほ銀行	6,476	3.50
資産管理サービス信託銀行株式会社	4,089	2.21
安藤ハザマグループ従業員持株会	3,470	1.87
シービーロンドンオールイーファンド116	3,227	1.74
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT-TREATY CLIENTS	2,855	1.54
朝日生命保険相互会社	2,616	1.41
三菱UFJ信託銀行株式会社	2,404	1.30

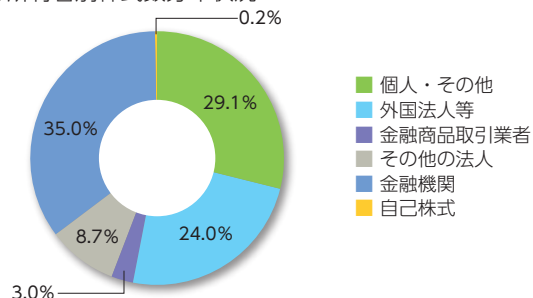
(注) 1. 上記の株式数比率は、自己株式337千株を含めて算出しております。
 2. 上記の所有株式数のうち、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社および日本マスタートラスト信託銀行株式会社および資産管理サービス信託銀行株式会社については、信託業務に係る株式数を把握しておりません。

新株予約権

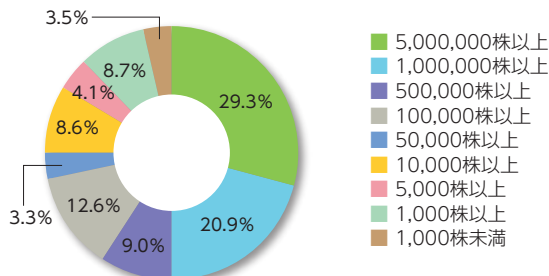
当社取締役・執行役員には株式報酬型ストックオプション、従業員（上級幹部のみを対象）には通常型ストックオプションをそれぞれ付与しております。（現在、新たな付与は実施しておりません。）

普通株式の分布状況

●所有者別株式数分布状況



●所有株式数別分布状況



株価の推移



株式の状況

事業年度	4月1日～翌3月31日
配当金受領 株主確定日	3月31日（期末配当） 9月30日（中間配当）
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 http://www.tr.mufg.jp/daikou/
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711（通話料無料。オペレータ対応） 受付時間 土・日・祝祭日等を除く平日9時～17時
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部（証券コード 1719）
公告の方法	当社ホームページに掲載します。 公告掲載URL http://www.ad-hzm.co.jp/ir/announce.html ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を行うことができない場合は日本経済新聞に掲載いたします。

株式に関するお手続きについて

お手続きの内容		お問い合わせ窓口
<ul style="list-style-type: none"> ・届出住所等の変更届 ・配当金の振込指定 ・単元未満株式の買取・買増請求 ・その他株式に関するお問い合わせ 	証券会社に口座をお持ちの株主様	口座を開設されている証券会社 ＊株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできません。
	証券会社に口座をお持ちでなく、特別口座で株式を保有されている株主様	
	・旧間組の株主様	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ＊下記①参照
	・旧安藤建設の株主様	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ＊下記②参照

特別口座に関するお問い合わせ窓口

① 旧間組の株主様 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711（通話料無料。オペレータ対応） 受付時間 土・日・祝祭日等を除く平日9時～17時 ＊三菱UFJ信託銀行の本店・各支店でもお取次ぎいたします。 ＊各種お手続き用紙のご請求は、以下のお電話・インターネットでも24時間受け付けております。 【専用ダイヤル】0120-244-479（通話料無料。音声自動応答） 【インターネット】 http://www.tr.mufg.jp/daikou/
② 旧安藤建設の株主様 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 0120-782-031（通話料無料。オペレータ対応） 受付時間 土・日・祝祭日等を除く平日9時～17時 ＊三井住友信託銀行の本店・各支店でもお取次ぎいたします。 ＊各種お手続き用紙のご請求は、以下のインターネットでも24時間受け付けております。 【インターネット】 http://www.smbt.jp/personal/agency/

特別口座に記録された株式について

- ①株券電子化前に証券保管振替機構をご利用されなかった株主様の株式については、三菱UFJ信託銀行または三井住友信託銀行に開設された特別口座に記録されております。
特別口座は株式を売買するための取引口座ではありませんので、特別口座に記録された株式を売却するには、あらかじめ証券会社に株主様の取引口座を開設し、株式の残高を振り替える必要があります。
- ②株主様の口座への振替請求、単元未満株式の買取・買増請求、届出住所等の変更、配当金の振込指定等につきましては、各口座管理機関の前記連絡先にお問い合わせください。

単元未満株式（1～99株）を整理したい場合（買取・買増請求）

- ①当社株式の売買単位（1単元）は100株であり、単元未満株式（1～99株）は市場では売却できませんが、以下の方法をお取りいただくことが可能です。
 - ・単元未満株式の「買取請求」…所有されている単元未満株式を当社にご売却いただくもの。
 - ・単元未満株式の「買増請求」…所有株式数が100株単位となるよう、当社から株式を買い増していただくもの。
- ②買取請求・買増請求の手続きは、単元未満株式が記録されている口座によって窓口が異なります。詳しいお手続き方法につきましては、各お問い合わせ窓口までお問い合わせください。

単元未満株式が記録されている口座	お問い合わせ窓口
証券口座	口座を開設されている証券会社へお問い合わせください。
特別口座	<p>〔旧間組の株主様〕 三菱UFJ信託銀行 http://www.tr.mufj.jp/daikou/ 電話 0120-232-711（通話料無料。オペレータ対応） 受付時間 土・日・祝祭日等を除く平日9時～17時</p> <p>〔旧安藤建設の株主様〕 三井住友信託銀行 http://www.smtb.jp/personal/agency/ 電話 0120-782-031（通話料無料。オペレータ対応） 受付時間 土・日・祝祭日等を除く平日9時～17時</p>

配当金の口座受取りについて

配当金は、銀行口座や証券会社の口座でお受取りすることが可能です。

- ①配当金を銀行口座でお受取りの場合
 - ・登録配当金受領口座方式
ご所有の全ての銘柄の配当金を1つの銀行口座（ゆうちょ銀行は除く）でお受取りいただけます。お取引の証券会社のうち1社にお申し出いただくことで、全ての銘柄の配当金を同一銀行口座でお受取りいただけます。
 - ・個別銘柄指定方式
株式をご所有銘柄毎に銀行口座を指定して、配当金をお受取りいただけます。
- ②配当金を証券会社の口座でお受取りの場合
 - ・株式数比例配分方式
お取引の証券会社の口座で配当金をお受取りいただけます。平成26年1月から開始した「NISA」（少額投資非課税制度）において、配当金等を非課税とするには、株式数比例配分方式を選択していただく必要があります。

※配当金の口座受取りに関するご相談は、お取引の証券会社等（口座管理機関）にお申し出ください。



表紙：パハン・セランゴール導水プロジェクトLot1-3A セマンタン取水堰、ポンプ場及び関連工事（マレーシア）

マレーシアの首都クアラルンプールおよび隣接するセランゴール州は、人口約473万人を擁する同国政治経済の中心で、急速な経済成長および人口増加に伴い、水の消費量が急増していることから、新たな水源の確保が喫緊の課題となっていました。

「パハン・セランゴール導水プロジェクト」は、アジア最大級のインフラ整備プロジェクトとも言われるマレーシア政府の導水開発プロジェクトで、JICA（独立行政法人国際協力機構）の円借款により、マレー半島中心に位置するパハン州から新設のポンプ場・ダブルパイプライン（11.8km）・導水トンネル（44.6km）を経て、セランゴール州に原水を導水するものです。

当社はこのプロジェクトのうち、パハン州・セマンタン川流域で2010年に着工した「Lot1-3A セマンタン取水堰、ポンプ場及び関連工事」を担当しました。この工事は、現地企業と共同企業体（JV）を組んで、安全管理、工程管理、品質管理を当社の指導のもと施工に当たりました。企業者、コンサルタント、現地企業から、当社の有する技術力はもとより、プロジェクトマネジメント能力についても高い評価を得ることができました。

同プロジェクトにより、都心部への日量189万m³もの導水が可能となり、同地域の安定的な生活・工業用水の確保、経済の発展および民生の向上に寄与します。



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方にに基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。